



渋沢栄一物語

日本の豊かさを作った偉大な人

あ ら す じ

新一万円札の顔となる渋沢栄一は、「日本資本主義の父」と呼ばれており、日本初の銀行を立ち上げ、東京ガスや東京海上日動、東京証券取引所など、さまざまな業種の会社を500以上も設立した人物です。

まだ日本に侍がいた時代に豪農の子として生まれ、6歳にして論語を読破。教育熱心な父と思ひやりにあふれた母の愛に育まれ成長します。23歳で徳川家に奉公し、27歳で将軍の弟のお供としてパリ万国博覧会へ。スイス、オランダ、ベルギーなどを訪れ、進んだ工業技術、自由な経済活動、近代的な街並み、身分を超えて議論できる風土などに衝撃を受けます。

明治時代になり、栄一は大臣を経験後、日本の商業を発展させようと多方面で大活躍しました。栄一は「自分だけが儲けよう」という気持ちはさらさらなく、「皆で頑張って、皆でもうける」「仕事を頑張った人がちゃんと報われる仕組み」を大切にしました人物です。

DVDをより深く子どもたちが理解し、考える力をつけるために

視聴後に、簡単な声掛けや感想を書く事で、子どもたちの理解はより一層深まり、考える力が身に付きます。

- (1) 栄一はどんな子どもだった？
- (2) 栄一は、犬を布団にいれてあげましたね。どんな気持ちだったのでしょうか。
- (3) 栄一はパリで、話し合う事の大切さを学びました。
キミは友だちと話し合いますか？話し合うのはどんな時ですか？
- (4) 栄一が「みんなでがんばって、みんなでもうけたい」と思ったのは
どうしてだと思う？
- (5) キミは、将来どんなことをやりたい？
そして、それをやり遂げるためには何が必要だと思う？
- (6) 「私はこんな風に思った」「私はここが面白かった」など、
お友達と色々な話をしてみましょう。
また、おうちの人にもDVDで見たことを教えてあげましょう。

